

飛行船



トライやる 終わる

1週間にわたる「トライやる・ウィーク」が終わりました。お疲れ様。「働く」「仕事をする」という体験を通して何を感じましたか？ 何を学びましたか？ 君たちの体験を支えるために多くの方が関わってきました。そのことにまず「感謝」ですね。そして、今回の体験を「今後の自分」どう活かしていくのか。1週間そのことを一人ひとりが考えながら過ごしてきたはず。あれだけの経験をさせていただいたので。その「学び」を活かさないわけにはいかないですよ。

多くの「学び」があったようです。机の上で教科書を使って学んでいるわけではないので、一人ひとりが「その時、その場」で感じたことが「学び」になっているはず。私たちの生活の中にはたくさんの職業があり、そのどれもが必要な仕事であり、社会生活の役割を担っています。今、中学生である君たちも、いずれ社会に出て、その役割を担います。どんな職業に就くか、今はまだわからないけれど、一人ひとりが大きな可能性を秘めています。その人の多くの経験が、多くの学びが、その人の「生きていく場所」へと導いてくれるはず。「今を力の限り」学んでいけば、必ず自分を活かせる場所に行き着くはず。



働く

とは何か！

昔の話。瀬戸内海を汚染した工場があった。漁師が押しかけた。

「魚が売れない。補償を…」と抗議した。海がきれいになるまで、魚は市場の値段で買い取られることになった。漁師は納得した。

翌日から獲った魚をトラックに満載して工場に運んだ。お金をもらって漁師は満足した。代わりに、魚は目の前の穴の中に捨てられた。

1週間経ち、2週間経過した。漁師たちの顔がだんだんおかしくなった。生色がなくなった。笑顔が消えた。ここで、漁師は初めて気がついた。

…いくら収入があっても、意味のない仕事をしていることはなんとむなしいことか。今までは、魚をおいしいと言って食べてくれる人たちがいた。それで仕事が楽しかったのだと…。



希望の人

「単調な作業をしているときにわいてくる雑念」 …… 「こんなことして何になるん?」「こんなんしたってムダちゃうん?」 …… その単調作業は自分を創る基礎となり、土台となる。仮にその努力が報われなくても、成果となって現れなくても、やりぬいた事実がそこにある。やり遂げた自信がそこに生まれる。ムダはない。そこには「努力できる人」が生まれる。「努力できる人」は「希望の人」なのです。

中間テスト

トライやるが終わって「ほっと」する間もなく、10月4日(火)・5日(水)は中間テストです。今週は台風16号のために臨時休校があったので、登校する日が少なかったですが、来週が1週間前になります。運動部は新人戦も近く、文化部も文化活動発表会に向けて忙しい毎日のはずです。早めの準備をしておきましょう。テストの結果に結びつくのは日ごろの学習です。「授業を大切に!」。言葉として分かっているでも取り組みが中途半端では困ります。忘れ物、提出物。あっ! そうそう。夏休みの宿題を出せていない人がいるようです。教科の先生に「叱られてからでは情けないですよ」。とっくに期限は過ぎていきますから、どうしようもないことですが、「出さなくていい」わけではありません。とるべき行動をとることです。忘れてはいけませんよ。今年の2年生の目標を。

仲間と共に一生懸命やるべきことをやる。1歩ずつ前進!

～毎日家庭学習・格好良い先輩になる～